

しんじ新聞

No.492

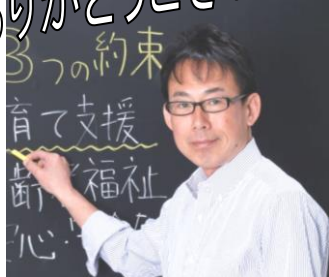
2019年 1月

品川区議会議員

無所属

高橋 しんじ

※毎週、区政や区内の出来事についてご報告しています



☆☆ 品川区イス ☆☆

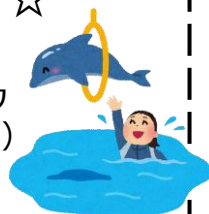
◇イルカの赤ちゃん!!

区立しながわ水族館のバンドウイルカのティナ（♀：推定10才）が7/19出産。17年ぶりとなるバンドウイルカの出産です。

さて、この赤ちゃんの名前は？（約2500通の応募から選ばれました）

- ①ジョニー ②メイ
③さくら ④ニーナ

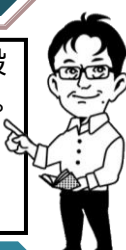
◎難易度 ☆☆☆



12/7 本会議で質問しました!

昨年、12/7に第4回定例会本会議で一般質問をしました。その一部をご報告します。少し専門的でわかりにくいところもありますがご了承下さい。Q:私の質問

A:区側答弁 ☆私のコメント ◎予算額



立会川の高潮（浸水）対策

Q:上流部には護岸にパネルがあり、かさ上げされている。河口付近にもパネルの設置を、という地域の方々の声がある。対応を求める。



立会川河口部

A(区長):高潮に対する当面の効果ある対策の一つである。地域の皆さんのご意見を踏まえ、東京都と協議する。☆早急な対応を



鉄板なし

八潮、立会川・勝島地区のまちづくり

Q:①八潮地区、②立会川・勝島地区の将来へのまちづくりの道筋は。

A(区長):①良好な住環境が保全され、さらに魅力ある地区となるように検討する。②勝島・京浜両運河を活かしたまちづくりや立会川周辺の活性化を目標としたまちづくりビジョンを30年度末に策定する。

将来



高橋しんじ事務所

品川区東大井4-13-11-304 〒140-0011
TEL:03-5461-8757 FAX:03-5461-8763
E-mail: takahashi-shinji@spa.nifty.com
ホームページ: 品川区 高橋しんじ 検索

☆過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。
☆『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。
☆『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。

特別支援保育、児童虐待

Q:①保育園・幼稚園の年長児への特別支援巡回相談（キーワード参照）は、30年度、大幅に回数増加された。成果と課題は。

②児童虐待防止は、区の子育て支援、保健、経済的支援等を総合的に行うべき。区の方針と決意を問う。

A:①特別な支援が必要な子どもが増加している。30年度は公立保育園・幼稚園317回、私立幼稚園36回巡回の予定。保育の専門性の向上、小学校入学時の円滑な接続等、役割は大きい。

②都から区への児童相談所の移管後は、新たな権限も活用し、児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応に全力で取り組む。

◎児童相談所移管推進事業 5,384万円
☆①小学校での支援につながる、とても意義のある事業です。充実・継続を求めます。



キーワード

◇特別支援保育：巡回相談

= 専門嘱託医・臨床発達心理士・学校心理士（5歳児の支援）が公私立保育園・幼稚園等を巡回し、保育士などに特別支援児への対応等の指導や相談を行う。

◎特別支援保育 1,916万円

高橋しんじプロフィール

平成27年4月5551,247票(2位。1位と58票差)のご支持を頂き、現在3期目。若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早実高、早大(政経学部政治学科 専攻は地方行政)・同大学院博士課程で学ぶ。東大研究員、塾などを経て、教師(早実高、都立日比谷高・青山高・大森高)。軟式野球ルーキーズ監督。平成19年初当選(2541票)、平成23年5232票(1位)。『議員力検定1級』合格

☆初心を忘れずにガンバります!

しがらみのない無所属



区政報告

No.492 2019年 1月

発行者 高橋慎司

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 4階

Tel 03-5742-6862

☆区政へのご要望をお寄せ下さい！！
☆ご希望の方に「区政報告」をお届けいたします(送料は当方で負担します)。

キーワード

◇i-check=総合質問紙調査。自己肯定感、学級環境(クラスの様子など)、学習意欲等の質問に答える調査です。学力定着度調査と同じ業者(東京書籍)の調査を実施しています。

◇特別支援教室=コミュニケーションの面で心配や課題のある児童・生徒が週に1日(1~4時間程度)、自分のいる学校の特別支援教室に移動し、指導を受ける。訪問指導拠点校の教員は、担当する対象校(4~5校)の特別支援教室を巡回指導する。

◇マイスクール=区立学校に在籍し、主に心理的要因で不登校になっている児童・生徒が通う教室です。学校復帰に向けた指導を行う。八潮・五反田・浜川(浜川中学校内)にある

本会議で質問しました!

教育について-学力定着度調査

Q:学力定着度調査は、2~9年生で実施している。この結果とi-check(キーワード参照)の結果とのクロス集計で様々な相関関係を分析できる。①その結果は。②各小中学校のHPで公開を。

A:①生活習慣・学習意欲との相関があった。学級に助け合う雰囲気があると回答した児童・生徒の得点も高い傾向があった。課題は、家庭との連携と授業の工夫。②個人情報等の扱いに十分留意する必要もあるため考えていないが学校だよりや保護者会等で伝えることも必要と考える。

◎学力定着度調査経費 3,246万円

☆学力と習慣等との相関関係について、課題と対策を各学校がHPなどで明らかにすべきと考えます。

特別支援教室

Q:利用児童・生徒が増えている。支援環境の整備を評価する。①ある拠点校の小学校は、在籍教員の約半分が特別支援教室(キーワード参照)配置の教員である。これらの教員対象の研修等について。②ある拠点校では、(教員が5校で)合計約100人の児童を巡回指導して

いる。拠点校を増やして、きめ細かい指導を可能に。

A:①国や都の研修会、区独自の研修会で指導実例を含めた情報共有に努めている。②都との連携も図りつつ、現在新規開設を準備している。

☆児童・生徒がこれまでのように他の学校に移動する負担がなくなり、自分のいる学校で指導を受けられます。都の施策ですが区は、いち早く実施しています。課題を解決し、充実を。

マイスクール

Q:現在、マイスクール(キーワード参照)は、発達障害(で不登校)の児童・生徒は利用できないと聞く。利用できるよう、求める。

A:主に心因的要因による適応指導教室である。特別指導教室を利用している(注:情緒障害など)児童・生徒の利用は新たな課題であると認識しているので、今後柔軟に個別対応する。

◎マイスクール運営費 7,853万円

☆「柔軟な対応」に期待します。

その他

- 区立障害児者総合支援施設開設までの経緯と開設後の運営について
- モンゴル高等専門学校との交流事業を通じた区内中小企業支援について。

クイズの答え:④ニーナ。①父親「ジョニー」(推定9歳)、母親「ティナ」から1文字ずつ取った。生後5か月を経過したニーナは順調に育ち、母親とじゃれ合い、元気にプール内を泳ぎ回っているという。ポストカードも配布された。(参考:12/25読売新聞)

②メイは昨年5月に生まれたマゼランペンギン。③さくらはゴマフアザラシ。



☆今回の私の各質問・提案に対して、区の前向きな答弁(例:「前向きに検討する」等)は、少なかったのですが、今後も粘り強く建設的な提案をして参ります!



朝、駅前にいます!

◎『区政報告』をお配りしています。
◎議会等の事情で変更する場合があります。
◎見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい。

月・水 JR大井町駅前
火 京急青物横丁駅前
木 JR大森駅前
金 京急立会川駅前

☆ 各 7:00-9:30 頃